

ミュージアム都留企画展

『土井晩翠と山田耕筰—日本近代詩と近代音楽の巨匠—』

市における高等教育の担い手であった県立工商学校(現：県立谷村工業高校)の校歌は、初代校長の河口孝氏と個人的に親交があった関係から、日本各地の小中学校校歌の作詞を手がけた詩人・土井晩翠が作詞し、当時晩翠や北原白秋らと組んで、多くの校歌や団体歌を作曲していた山田耕筰が作曲したものです。

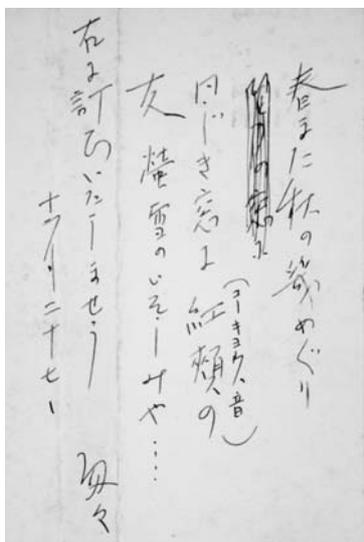
本企画展では、「荒城の月」「星落秋風五丈原」などの作品で知られ、島崎藤村と並んで日本近代詩の出発点を築いた土井晩翠と、歌曲や童謡、交響曲など広いジャンルにわたる作品を生み出し、オーケストラ運動やオペラ運動を興すなど、近代日本音楽の創始者とされる山田耕筰の生涯と業績を、市との関わりも含めて紹介します。



山田耕筰



土井晩翠



土井晩翠より歌詞修正のはがき

関連イベント(予定)
童謡・歌曲を歌う会
9月18日(月)、10月29日(日)
器楽(二胡)演奏会
9月24日(日)
詩の朗読会
10月22日(日)
ほか

期 間 9月1日(金)～10月29日(日)
観覧料 一般 300円(210円)
高・大学生 200円(140円)
小・中学生 100円(70円)
※()内は20名以上の団体料金です。増田誠美術館と共通券です。
休館日 4日(月)、11日(月)、19日(火)、25日(月)

増田誠美術館 堀内篤氏コレクション

「ユトリロ、ピカソ・・・ビュッフェのリトグラフ」開催中

会 期 9月24日(日)まで
会 場 増田誠美術館(ふるさと会館2階)

ビュッフェやユトリロ、ピカソ、ルノアールなどのリトグラフと増田誠画伯の油彩画の大作を展示しています。

堀内篤氏より新たにロートレックの作品「ムーラン・ルージュにて：踊り」(リトグラフ)が8月14日に、増田誠美術館に寄贈されました。

この作品は、彼が愛したムーラン・ルージュを舞台にしたもので、画面中央で踊る男女の躍動感、前景に配された人物の静かな横顔、そして、後景で踊りを見る人々という画面構成が、そこはかたない哀歓を感じさせる作品です。ぜひ、ご覧ください。



ムーランルージュにて：踊り(リトグラフ)